絵本フォーラム

子育て支援ネットワーク

2017年1月10日　第110号

2003年4月25日登録雑誌第4995413号(購読料31ヶ月2,070円(第6回奇数月10日発行 郵送料込み))

発行所　NPO法人「絵本で子育て」センター
芦屋 〒659-0067 芦屋市茶屋之町2-21-405
TEL 0797-38-7516 FAX 0797-38-7939
http://www.ehondekosodate.com/　E-mail info@ehondekosodate.com
郵便振替口座 00900-9-191667

©NPO法人「絵本で子育て」センター2017

子ども歳時記

言葉は言葉で育ち、思いは思いで伝わる

吉澤　志津江（絵本講師）

89歳の父が自宅療養している。筋萎縮性側索硬化症という病気だ。呂律が回りにくくなったことがはじまりだった。検査や入院を経て診断が確定した時には症状が出てから10か月がたっていた。告知の時、医師は、難病中の難病という言葉を使った。進行性の神経疾患で、原因は不明、治療法も確立していない。「しゃべれない、食べられない、動かせない」という症状がランダムにあらわれてくる。高齢発症ほど進行が速いらしい。とすれば、父は遅からず、口から食べられなくなり、自ら呼吸もできなくなるだろう。そうなると、生命を繋ぐための手段はわずかしか残されていない。

＊　＊　＊

何かの間違いではないか。んじゃないか。相手はないのに、恨みを抱いたこともない。や二度ではない。父は持ちの整理がつかない。大変在宅介護が始まった。仕事を遅刻する、中抜けする、早引けする。全介助でのミキサー食の食事が一日3回。夜中に何度も起こされる。病状に翻弄される毎日が続いた。

大人だけの落ち着いた暮らしのペースが激変して、気持ちにも体にも疲れがたまってきた頃、ノーベル文学賞にボブ・ディランが決まったというニュースが飛び込んできた。その時私の頭に浮かんだのが『はじまりの日』（岩崎書店）という絵本だった。

『はじまりの日』（岩崎書店）

この絵本は、ディランの『Forever Young』という曲の詩に、ポール・ロジャースが絵を描いたものだ。ディランは「息子のことを思いながらつくった。自然にうかんできて、そのままできあがった」と言う。タイトルは『いつまでも若く』と直訳できる。これを『はじまりの日』と訳したのは詩人のアーサー・ビナードだ。

子どもの健やかで幸せな育ちへの願いと、子どもへの信頼がこの詩を貫く。が、『きょうもあしたもあたらしいきみのはじまりの日』というこの一節だけで、年を重ねた人にも、エネルギーがわき出てくるのではないか。

＊　＊　＊

おとなは、子どもに、どんな言葉をかけどんな思いを伝えていくのか、存在が問われる。言葉は言葉で育ち、思いは思いで伝わる。

家の者は私に、「介護が始まってから優しくなった」という。車椅子の上で、思うにまかせない咀嚼に苦を重ねる父に対して、不思議と優しい言葉が出てくる。その言葉は子どもの頃に父や母からもらったものだ。夜中に起こされてもその時間が愛おしく思える。それは、そういう風に育ててもらったからだ。父に注いでもらった60年分の言葉と思いが、今は私から父へと戻っていく。

治療の見込みがない89歳の父にも、今日がはじまりの日と言えるかどうか、今の私は答えを持たない。けれど、いま父に「あなたのことが大好きだ。少しでも、長くいてほしい」と声を掛けながら日々を過ごしている。

（よしざわ・しづえ）

“たましい”をゆさぶる子どもの本の世界 99

飫肥　糺（批評家・エッセイスト）

ナンセンスなひびきに惹きこまれ、かぎりなく空想がひろがる

『りんごかもしれない』（ブロンズ新社）

12月半ばのこと、京葉線市川塩浜駅でホーム下にうつ伏せになる男が出現する。まもなくやってきた電車の下に男は潜り込み、警察官に逮捕されるまで頑としてうごかなかった…。10月中旬に若い女性が風呂場で出産死した赤ちゃんを置き去りにし、下旬には何者かが裸の乳児を布にくるみ公園に遺棄…。こんな常軌を逸した事件がつぎつぎと起きる。

一部の企業や資産家のみに豊かさを独占させるいびつなグローバル社会が世界をおおう。貧富の差の広がりはとめどなしだ。各地の紛争（戦争やテロリズム）も富や権力の偏在に起因し、分起因しているにちがいない。

我が国だって例外でなく、貧富の差は拡大、独裁国家とみまがうほどの強権政治は、問題法案を猛スピードで通過させる。モノ言えばパージを受けるのか、野党の多くも、哀しいことに新聞・テレビら大マスコミも、言論の自由を自ら放棄する始末。かれらは口先だけの反論・異論でお茶を濁すばかりである。

なんでもありの世の中だからだろうか、過激に奔って自暴自棄となる人びとも出てくる。

で、英国のEU離脱なんかありえない、トランプが勝てるはずがない、という一方の通念が、離脱できるかもしれない、勝てるかもしれないという、もう一方の思い込み（仮想とも妄想ともいえようか）のまえに敗れさる。常軌を逸した事件の惹起者たちはどうだろうか。弱者にやさしい世の中だった。悲惨な事件の多くはなかったかもしれない。

サクランボの一部かも、むいてもむいても皮かも、育てると大きな家になるかも、心があるのかもしれない、とつづくと、古希を過ぎたわが脳みそも少しは働きはじめて、作者の世界におくれを取るまいぞと必死にページをめくってしまうのである。

こんな風にも展開するのだ。『ぼくのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんがりんごのすがたをしてぼくにあいにきたのかもしれない』…、どうですか。フォークナーからナンセンスなひびきリズムを加えた絵本は、孫とあそぶ老心には、意味なくちょいと、うれしくなるではありませんか。

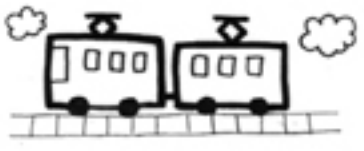
加えて、イラストがすごい。親しみやすいカートゥーン・タッチの線描に印刷指定色だろうか、黄赤をメーンに白地も活かした色彩の風合いが感じよく目に飛び込む。相当に計算した（悩んだ）にちがいない面割り・箱割り・駒割りのエディトリアル・デザインもテキストのリズムと気分よく調和するではないか。

老心までぐいぐい捉えてしまうのだから、子どもたちだったら、どんな喰いつきを見せるのか、とんでもない喰いつきがみられるかもしれない、と空想がつのりはじめるはずだ。作者はいったい何者か。きっと相当の魔人か、夢み人かもしれないと、まずは、ひとりごちて読み楽しんでいる。

想いを馳せるなら、空に遊び夢を描くほうが断然いい。ナンセンス絵本の傑作といっていいだろう。

（おびただす）

『りんごかもしれない』ヨシタケシンスケ＝作　ブロンズ新社



シリーズ累計1,500万部!
世代を超えて愛されるロングセラー
松谷みよ子
あかちゃんの本

童心社
〒112-0011 東京都文京区千石4-6-6
ご注文・お問合わせ☎03-5976-4181

絵本・物語と、子どもが大好きなみなさん、「ラボ・テューター」になってください。
「ラボ・テューター」は、絵本・物語を英語と日本語で楽しみながら、子どもの言語力、社会力を育む教育活動『Labo Party』の指導者です。自宅でわが子と楽しみながら、絵本で子育てができる・英語のスキルアップが図れる仕事です。
「英語教室の先生」とは違うラボ・テューターの活動内容をお伝えしたく、ぜひ資料『ラボ・テューターへのご案内（無料）をご請求下さい。
【資料請求】Fax・E-mail・HP・携帯いずれでも可能です。
必ず「絵本フォーラムを見て」とご記入下さい。
○Fax：03-5324-3409
○E-mail：info@labo-party.jp
（お名前、ご住所、電話番号、及び「絵本フォーラム」とご明記下さい）
○HP：http://www.labo-party.jp
「ラボ・パーティ」で検索して下さい
○携帯HP：右下の欄コードよりお申込下さい
★絵本紹介ロ・プレゼント中★（「絵本フォーラム読者限定」資料請求くださった方先着100名の方に、Labo Party会員向け絵本紹介CDを同封いたします。『おおきなかぶ』『ふしぎの国のアリス』が収録されています）
ことばがこどもの未来をつくる
Labo Party
Since1966

あるアーティストと悪がきだったぼくのこと　アルル時代のゴッホの物語

ぼくは、その人にひどいあだなをつけてあざわらい、モノまで投げつけていました。
S・ビーコック＝作　S・カーソン＝絵　おびただす＝訳
定価：本体1,500円＋税　A4判変　44p
ISBN978-4-89737-849-7
六耀社
〒136-0082
東京都江東区新木場2丁目2番1号
T:03-5569-5491(代)　F:03-5569-5824
www.rikuyosha.co.jp

抱きしめてあげて
育てなおしの心育て

渡辺久子 著　いわさきちひろ 画
定価 本体1,400円＋税
幼児期から思春期にかけての育児の大切なことは「手に勉強のできる子」や「行儀のよい子をつくること」ではなく、次の社会で「仲間と仲良くやっていける社会人」や「温かい家庭を築き、よい子育てができる親」を育てることという小児科医でもある著者がその方法などを26の症例を挙げて明示します！
太陽出版　〒113-0033 東京都文京区本郷4-1-14 TEL.03-3814-5471 FAX.03-3814-2366

こぐま社50周年記念出版
ねずみさんのくらべっこ

多田ヒロシ 作　定価(本体900円＋税)
太っちょねずみと細っちょねずみが、いろんなことをくらべっこ。重い－軽い、大きい－小さい、高い－低い…くらべっこの楽しさとユーモアたっぷりの展開に、思わずページをめくりたくなる絵本です。
こぐま社
〒112-8666 東京都文京区関口1-43-5
TEL:03-3202-9438 FAX:03-3204-4388
http://www.kogumasha.co.jp

発行中止を決定！購読申込み